

青灣茶話

下

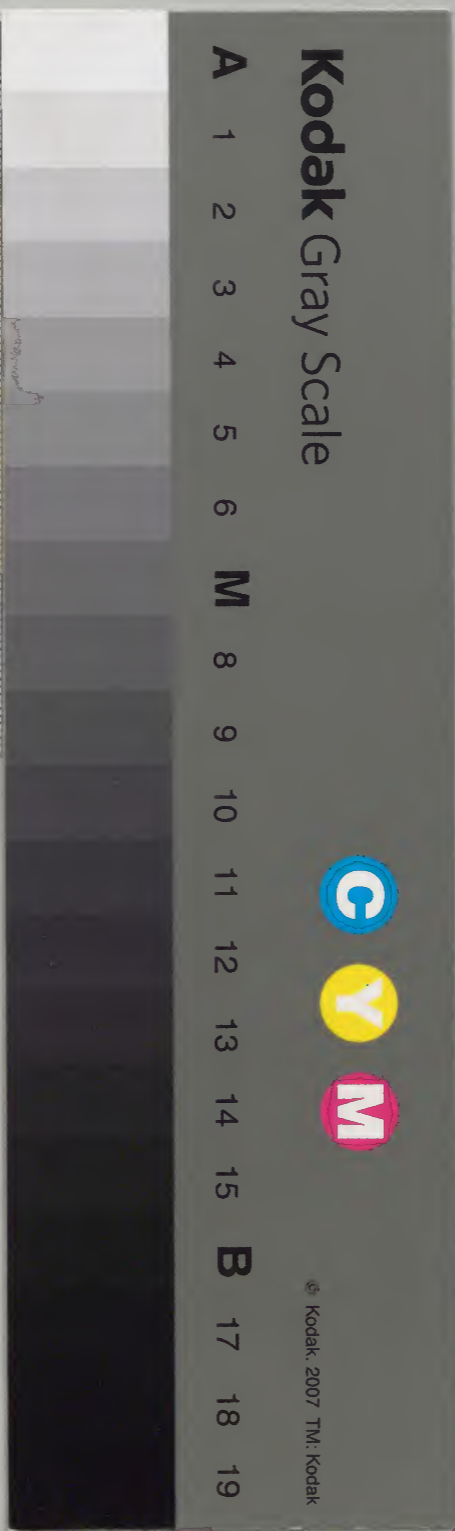
番外書冊

和書門	
一六九八二號	二七
二五	

庫	文	閣	内
九	一六九八二		和
九	二		書
函	冊	號	類
二			
架			

内閣文庫	
番號	和 16982
冊數	2 (2)
函號	199 334

小枝曲



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

青灣茶話卷之下目錄

水注

茶鼎

焙鈎

炭斗

包育

火管

瓢杓

器局



淺草文庫

桂林會

Handwritten signature or mark in black ink on the right page.

建城

器具銘

茶品彙

名水品彙

論水

水輕重

水式

青島...

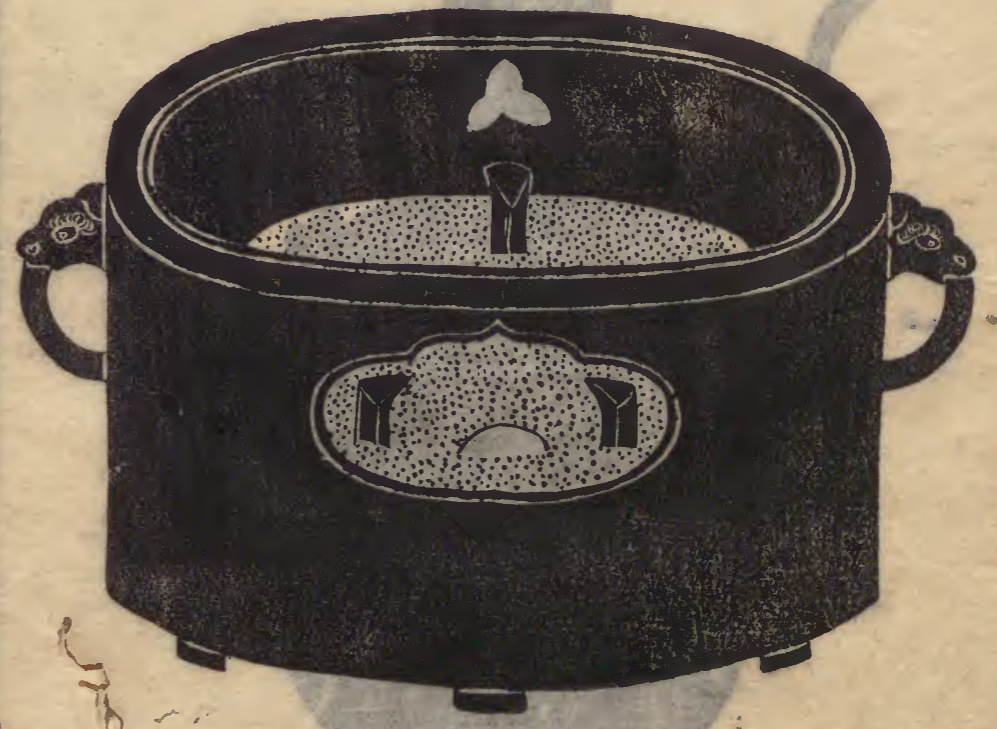
茶器

水注



青島茶器

茶鼎



焙鈎



炭

鈎 焙

炭斗

炭斗

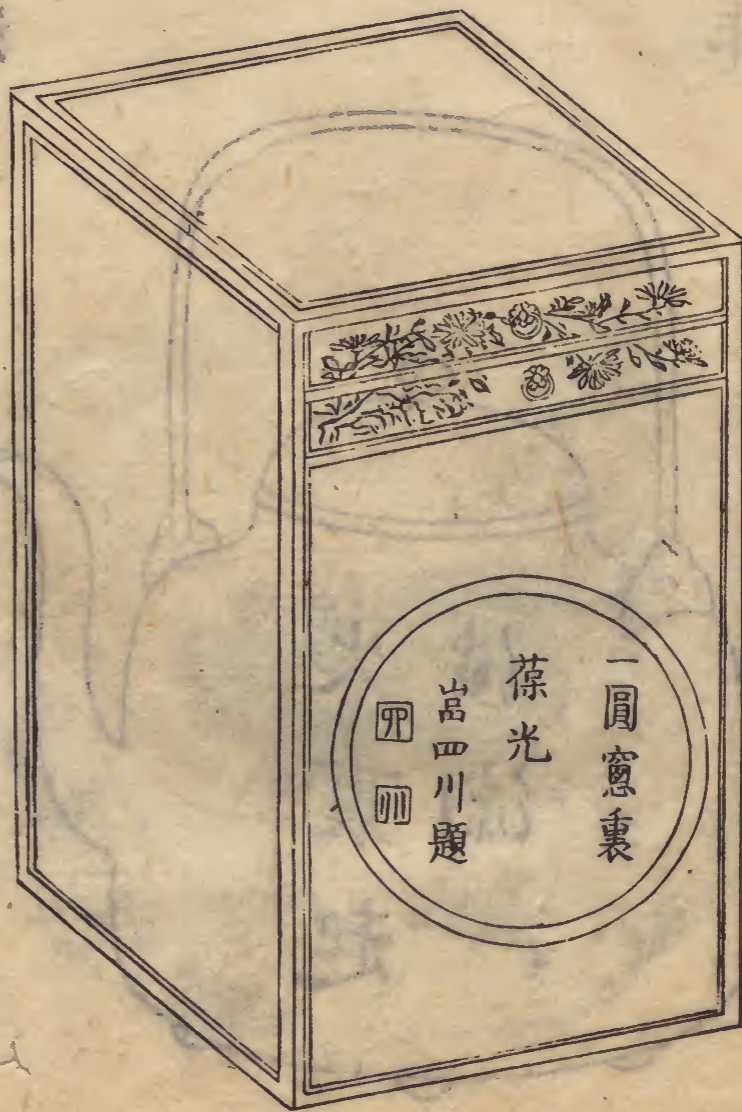


茶注 遊外居士銘

茶注



包育



茶封 新代書士繪

火管 羽扇



鷹林

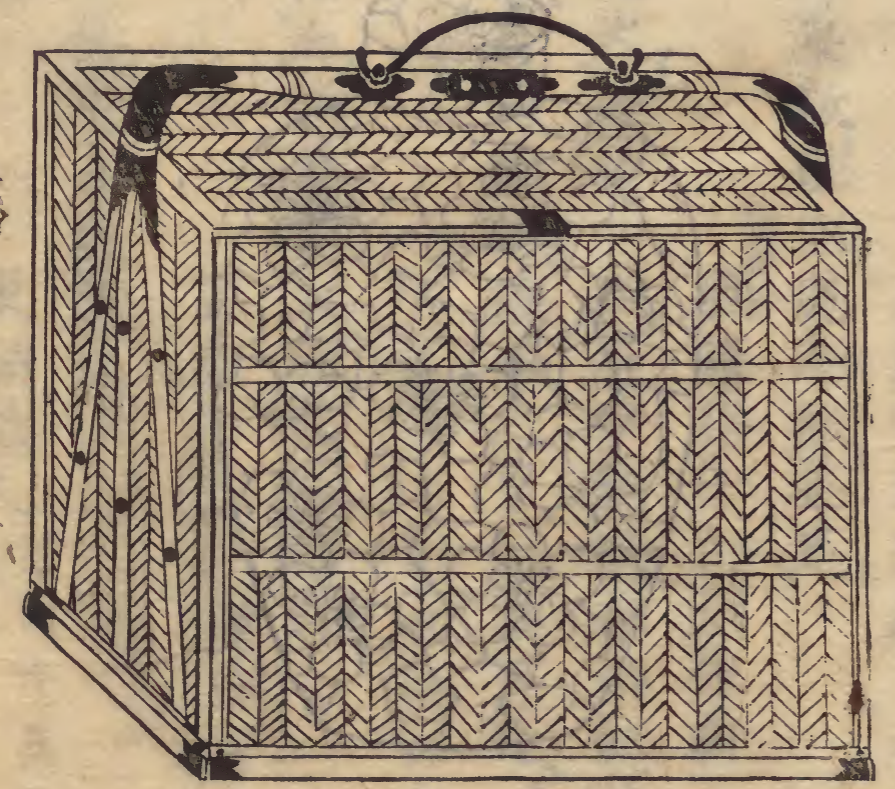
瓢杓

大督

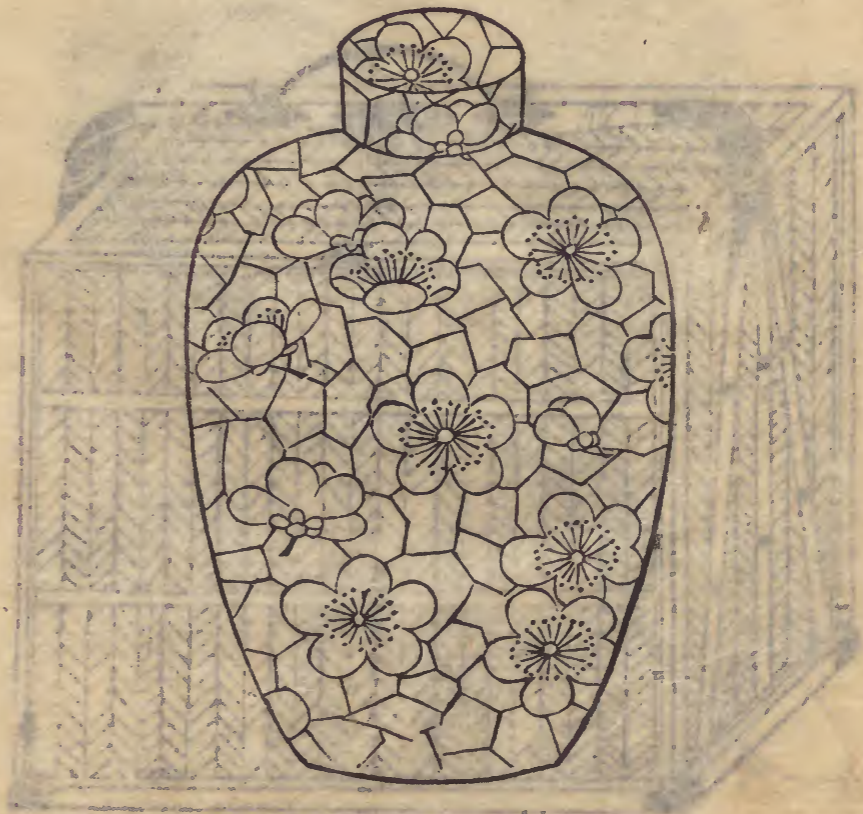


器局

数林



建城



器風

水注銘

參政滕宜季卿

提梁銅器貯惠山泉數碗洒處冷徹茶筵

茶鼎銘

典籍學士仁則矩軒

三峽之水烹以文火睡後一碗吾今喪我縷烟繞蒼圖
書如畫不平之鳴有時澎湃礪礪之宵一吞可化

包育銘

楚堂顯杜多 日初禪師

空腹高心皮下無血能養妄火與我同轍

焙鈎銘

高遊外居士 賣茶翁

去其濕取其乾半鈎素月懸雲上

炭斗造瓢銘

東湖散人 相國寺慈雲菴

青鬚茶話下

無用之用、率性斯宜、克守其黑、式緝其熙。

火管銘 山信四川

頑固炭子、吹覺無明、度生高客、何若管兄。

羽扇銘 同

鵬鳥搏去、南溟起波。

瓢杓銘 同

許由高捨、吾拙樂之、長流無心、級起漣漪。

建城銘 三山董柯亭 華人名密

雪乳珍藏 四字名

春壺銘 姑蘓沈草亭 華人名璠

美哉此壺、非玉非金、非寶非晶、收貯龍團、包涵鳳茗、質吐梅花、體遠冰紋、凝藏元氣、保蓄天真、華筵不雜、騷幟相親、盧仝注受、陸羽交神。

浪華雅士、寶此如珍、欲素于後、乞予是銘、時己巳仲

冬于長崎、館著古茶壺銘。

品司銘 山信四川

簾劈湘竹、織成波文、建城數樓、一鎖清煮。

通仙局銘 全

管撰茶具、遠伴踏青、滌煩令爽、當通仙靈。

風爐銘 行省收 全

周轉自在、從月因風、活火煎動、白雪丹楓、

火管銘 三言 崑信四川

待彪嘯、有翟生、一線竅、發松聲、

水注銘 納行省 全

江山甘泉、帶落蒼波、和秋光吞、自滌俗習、吾沁枯腸、朱門莫入、

焙弦銘 全

出花間、半輪光、不借羊、發芳香、

烏瓢銘 全

胡蘆腹裡、松卯烏銀、雅素天造、用來催春、

提籃銘 二句 全

間人一、歲忙花月、茶具半肩、對石泉、

又 二句 全

收山水奇觀、吸富嶺秀氣、

風爐外匣銘 六言二句 全

六合匣中含靈、一圓窻裏葆光、

茶銚銘 全

三足俯地、一流迎天、清薰透銚、轉簇雲烟、

注子銘 全

誰謂漏逗、持而守之、大口不語、冷暖自知、

提籃銘 全
籃納須弥、鈹朝四海、飢食渴飲、陶翁無待、

火管銘 全

空洞無物、嘘破闇來、甲方飛揚、其德勇哉、

茶品彙

蘭茶 珠蘭茶と云ふ者如茶海来茶第一珍品湯の
器に入来す掛月又く終つあり

松蘿 舶来のもの之蘇州園門より入来りりおると云ふ付りり
去希し事し挑巖秋石舟所撰茶羅と云書りり序曰

唐有名僧号曰松蘿為喜烟霞隱居山野云此人の始て製せ
茶なりなまんと呼ぶと云り始終けまよそまらり可考

武夷 此茶武夷の白茶と云ふハ黒く白くさうびのやうなり
ふさふさありりやうりやうりさ茶ハあつとそも舶来の
品なり此茶のこし法書又出つとハ委不奉

唐茶 ちよとよく舶来品もの之於紀州一製云

一ツ山 雁音 山吹 初緑 湖溪 越後 初山吹

春風 喜撰 政所 龍田 一ツ森 冬梅 折鷹

朝日山 政所初葉

右拾六種江州信樂と云ふ産は日東産茶此産一
の事茶ハ江州一と云

花橘 江州産根より八里よりわたり不村原中島
よりとの近年製出と云ふなり

蒸茶 珠州宇治産茶の蒸也

室生 大和産

清見 駿河産

服部 伊賀産

河越 武州産

仙靈 播州栗賀生蓮寺産 靈玄院法皇ノ御勅名

本葉 薄葉 州西種城州高雄山ノ産日下桑ノ始テ産ル所ト云

草山 高泉寺 明石 州三品丹後ノ産

足久保 駿州産 吉野茶 和州産

北山茶 和州産 川俣茶 勢州産

高野茶 紀州産以浪華水烹甚悪シ山水ニ宜シ 日向茶 疏茶也毎精製者

完栗茶 数品播州産 カナコシキ 豫州宇麻郡産

相樂茶 肥前産 筑後茶 上品

輪違 濃州茶 葉室 城州醍醐産

石水品彙

賀茂御手濯川 城州洛外下賀茂社流水斯泉華洛第一ノ水

菊水 京祇園下河原ニあり水甚淡く茶の可否大よあり

明星水 吉田ニあり井水なり菊水より白く味も清

飛鳥井 京二条小あり 少將井 大炊湊門南

手水井 四条烏丸 柳之水 西洞院三条通

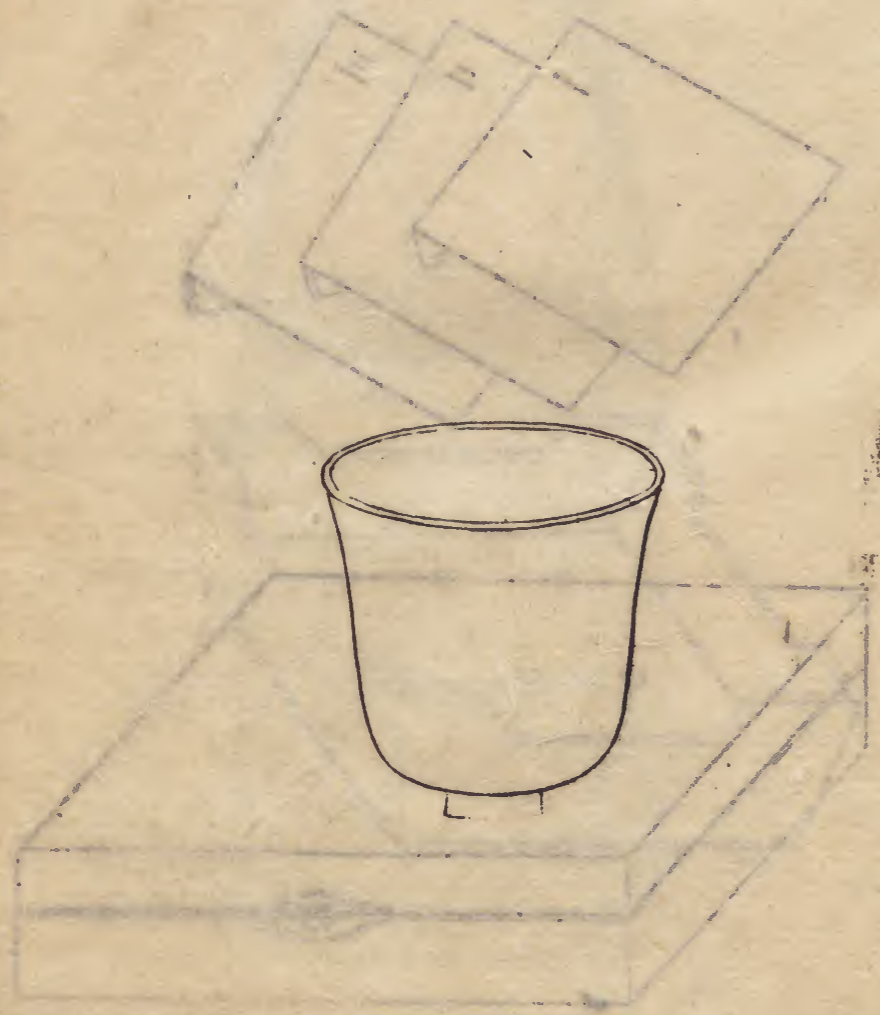
醒井 佐女牛通六條北 常盤井 武者小路新町

清和水 一条堀川東 晴明水 上全

杜鵑井 油小路通中立賣下ノ東側人家内

茶室用器

茶 筥



茶室用器

風爐



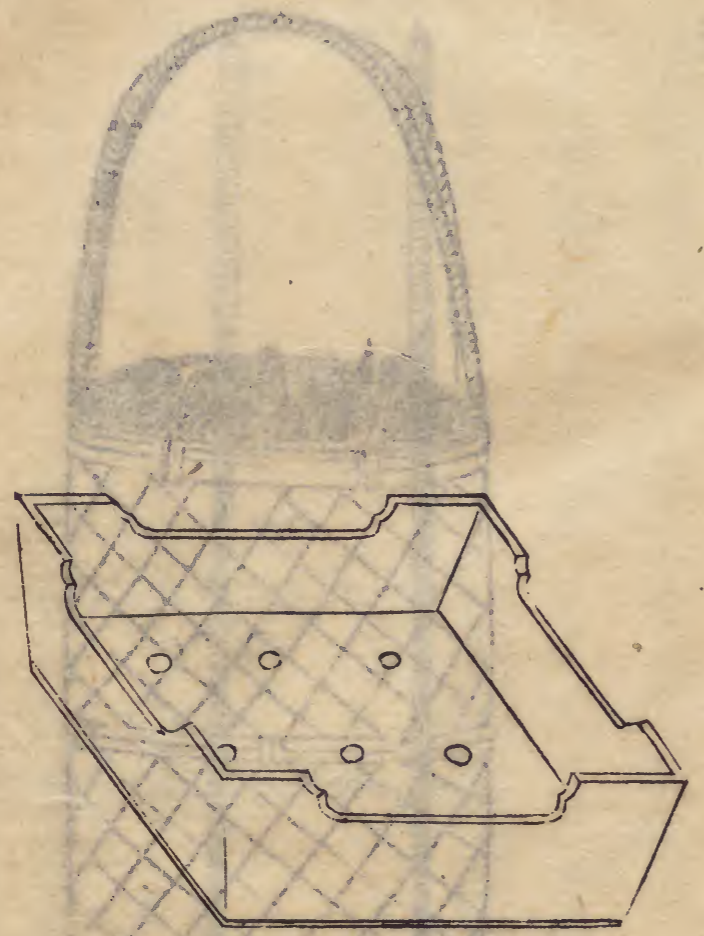
茶室用器

茶室用器

茶室用器

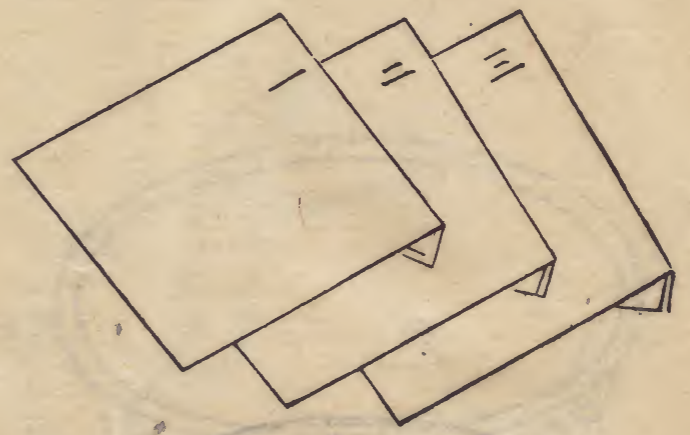
茶盤の図

茶盤



三

巾 襦



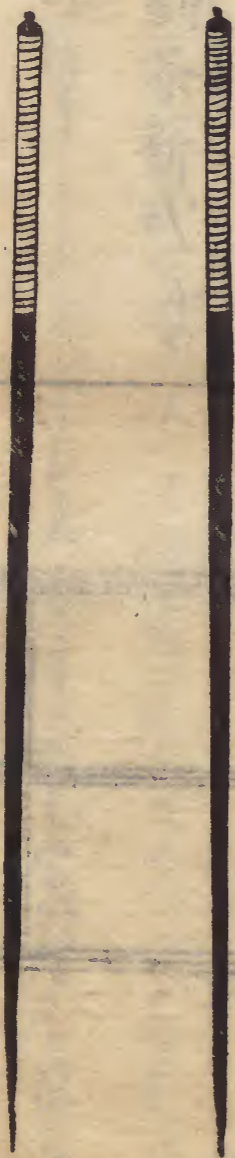
襦納箱

茶盤の図

三

茶期考

火筵ヒバシ



鳥スミ盤ハシ府トリ茶チ



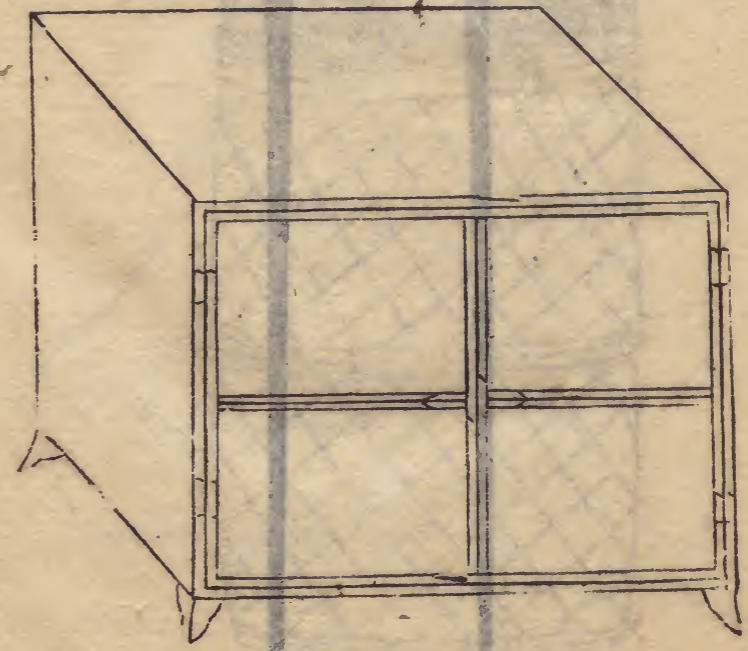
茶期考

青島茶言

品テヤ

局タニス

以換



園茶之要具先右七ありあり湯提點風炉茶蓋
 の後ハ二篇又二つあり巾囊小茶とて二つと茶籠
 乃せより茶盤烏府大筵茶系ありお茶局ハ右七
 をとおはたおくべしとものくそ後ハ右篇又二つあり

開茶新式カキ

園茶クカスの起りしより久しきものありしと実然とそ後
 唐庚が園茶の地范希文が園茶の款あり又園茶と述
 人茶戦とてより久しきものあり范氏歌よ曰其間品弟胡能
 欺シヤ十目視而十手指とて云ふれしよりけそ香合の式
 子擬ギして今新式を著しりしよりそその園茶とてハ

清茶考茶沽附録

清海茶譜附録

牌表記

龍焙	鳳團	露芽	雲花	清神	通仙	素濤
白雪	雲脚	仙掌	以上十品牌數三十枚十客用之			

右のしるしをふりて背より一二と記す者へ玉川式の付
ハ一二之客と記す者へ寸毫の用四寸板あり

通僊弟品記

茶名 一 冬梅 二 一ツ山 三 棟棠

龍焙 一 三 二

鳳團 一 三 二

露芽 三 二 一

雲花 一 二 三

清神 一 二 三 一の茶人より皆

支于月日

於何齋小集

茶主 某

明府 某

玉川式

此式を玉川しるしを以て盧全が名より七盤不得喫
と云ふしるしの法三盤時取四盤より一盤ハの法ふり

三十一

〇十一

青灣茶話附錄終

このて因く未喫との一盤ありはと玉川式と云はれ
茶ヲ煎 一 二囊 二日 三日 客 一囊

右明試之煎 一 如 一 煎列飲終くは時指で囊くらん
いつもうちなりとと煎 一 煎ふのど 一 明試を
茶一煎入ははとよく味あり 一 考を後ととく 一
多し此者の例はけ 一 茶煎化は二搦二畫あり一人ありハ
二搦とく 一 此録の書式と通ぬ式あり 一

青灣茶話附錄終

大枝先生編述

先出 貝盡浦の綿

哥仙貝源氏貝及花園
名貝評治年貝合図式

嗣出 雅遊漫録 七冊

書画詩歌管絃及弄歌之
或古綿織各心基中只解之

寶曆六年丙子春三月出來

澁川清右衛門

浪華書坊

大賀惣兵衛 全梓

